

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No1	前年度同様、入所までの人生を知り、ご本人、ご家族の思いを深く汲み取り、日々のケアに活かし何でも相談できる関係を築く。 昨年度は5件実施。本年度は出来る限り多く実施できる様に調整を行う。	ご本人、ご家族、担当職員全員が出席する個別カンファレンスの実施。 昨年度5件、本年度目標6件。	2ヶ月に1回位のペースでカンファレンスを実施。ユニットスタッフ全員が出席できる様、勤務調整を行う。 介護計画書へ反映する。	12ヶ月
2	No2	最期まで自分らしい生活を送って頂く。	・座位の安定。 ・下肢筋力の向上。 ・統一した移乗動作の実施。	トランスファー委員を中心に勉強会、啓発活動を実施。地域リハビリテーションを活用し専門職による評価、助言のもとリハビリを実施する。 いつまでも安心、安全に生活して頂ける様に務める。	12ヶ月
3	No3	外出の機会を多く持ち健康維持を図る。	日常的に外に出掛けられるよう 又、行きたい所に出掛けて行ける環境づくり。	寒い季節になるとどうしても外出の機会が減ってしまうが出来る限りテラスなどに出て気分転換を図られるよう、又、希望に沿った外出が出来るよう配慮する。全員で出かける計画を立てる。(年2回)	12ヶ月
4	No4	チームケアの確立。	朝のミニカンファレンスや会議などを通して、報告・連絡・相談を確実に行きスムーズな連携が図れるよう努める。	会議、カンファレンス、アンケートも含め日々の問題や改善点など個々に感じていることなどスムーズに話し合える環境を作る。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。